

臨床研究センター特別講演会

偉大な仕事をされた人の話は未来への活力です

インターロイキン6発見物語

講師
平野 俊夫 先生
大阪大学総長

1972年 大阪大学医学部卒業
1978年 大阪府立羽曳野病院
1980年 熊本大学医学部附属免疫医学研究施設助教授
1984年 大阪大学細胞工学センター助教授
1989年 大阪大学医学部附属バイオメディカル教育研究センター教授
この間に、大阪大学評議員、生命機能研究科長、医学部長などを歴任
2011年 国立大学法人大阪大学総長(第17代)

日時：2012年12月6日(木) 午後5時30分～6時30分

場所：大会議室

対象：全職員

2009年 クラフォード賞受賞

サイトカインのひとつであるインターロイキン6を岸本忠三教授(元大阪大学総長)とともに発見し、関節リウマチなどに関する炎症性疾患における役割について解明したことが認められた。

クラフォード賞：1980年にCrafoord夫妻により設立された賞で、天文学・地球科学・数学・生命科学・関節炎に関する基礎研究の推進が目的で、ノーベル賞が扱わない領域の研究が表彰される。

ノーベル賞と同じく、スウェーデン王立アカデミーにおいて、国王陛下のご出席のもとに授賞式が行われる。関節炎の領域のノーベル賞である。

その他、ベルツ賞、チバガイギー・リウマチ医学賞、Sndoz Prize for Immunology、持田記念学術賞、ISI Citation Laureate Award(1981-98)、藤原賞、日本医師会賞、紫綬褒章、日本国際賞 など多数受賞

臨床研究センター主催